コラボレーション型プロジェクト②

AIとタイムトラベルゲームシステムによる
「遊べる京都文化資源アーカイブ」の構築

Ruck Thawonmas（情報理工学部）、斎藤進也（映像学部）、河角直美（文学部）

プロジェクトの骨子

京都の街を対象としたタイムトラベルゲームの開発

ラック班

AI技術を用いた
古写真の解析処理

AI技術を用いた
画像処理

ゲームクリエーション
とアーカイブの高次融合

河角班

古写真の活用による
地域の記憶のアーカイブ

齋藤班

街のエンターテインメント
(映画・ライブ等)のDB
とその配信基盤の構築

街の記憶の
アーカイブ基盤

河角班コンテンツ

河角班コンテンツ

© CAD CENTER CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

© CAD CENTER CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

© CAD CENTER CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

古い町並みの
3Dモデル

齋藤班コンテンツ

齋藤班で開発を進めるゲームシステム「縁起空間」

←キャンパス全体の風景
複数の建物の
360度イメージ
が格納されている。
特定の建物を選択し、
その中に入ることが
出来る。

キャンパス内の
建物の360度イメージ

特定の建物の内部→
(アート・リサーチセンター)
建物の内部には、
タイムラインを格納し
ている“**縁起**”が複数
浮遊しており、その中
に入ることが出来る。

縁起

アート・リサーチセンターが保有する
映画関連資料のVRタイムライン

Total : \$0

Collection of old
Japanese cinema sign

1929年

CycleGAN [1]

- An artificial neural network that can perform image-to-image translation **without pairing information**

The final loss = GAN loss + Cycle loss

$$\begin{aligned}\mathcal{L}(G, F, D_X, D_Y) = & \mathcal{L}_{\text{GAN}}(G, D_Y, X, Y) \\ & + \mathcal{L}_{\text{GAN}}(F, D_X, Y, X) \\ & + \lambda \mathcal{L}_{\text{cyc}}(G, F),\end{aligned}$$

Loss function [2]

Training Architecture of CycleGAN

- [1] Zhu, J. Y., Park, T., Isola, P., & Efros, A. A. (2017). Unpaired image-to-image translation using cycle-consistent adversarial networks. In Proceedings of the IEEE international conference on computer vision (pp. 2223-2232)
- [2] <https://medium.com/deep-math-machine-learning-ai/ch-14-2-pix2pix-gan-and-cycle-gan-55cd84318fb8>

Results: Examples of Generated Levels (1/3)

*Stephenson et al.'s
sketch-to-level
generator*

*Without
CycleGAN's*

Sketch Image

*Stephenson et al.'s
sketch-to-level
generator*

*With
CycleGAN's*

Sketch Image

CycleGAN's output

Results: Examples of Generated Levels (2/3)

Results: Examples of Generated Levels (3/3)

「遊べるアーカイブ」のためのタイムトリップゲーム基盤の構想

今後の展開

- 構想の具体化
 - タイムトラベルゲーム基盤の設計
 - コンテンツとなる古写真などの選定
 - AI活用の
 - 制作スタッフの確保
- ゲームデザイン
 - エンターテインメント作品としての質も考慮
 - 世界観、レベルデザイン、グラフィックの検討
- デジタル・アーカイブとして
 - 体感型のコンテンツ閲覧
 - 記憶のアーカイブという観点重視